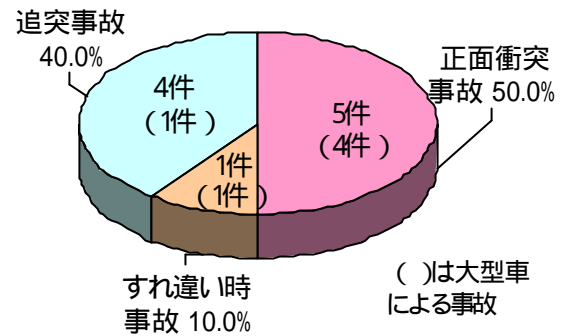


# 一般国道47号 戸沢村戸沢スノーシェッド

対策時期：H17.3  
事務所名：山形河川国道事務所

## スノーシェッド内にはカーブ区間があり、事故が発生

- ・スノーシェッドが設置されている当該区間は、カーブ区間であり、うす暗く、先が見通しにくくなっており、**正面衝突事故やすれ違い時の事故などが発生。**  
(右図はH10～15年の発生事故の割合)



### 視線誘導標の設置

- ・カーブ区間であることを自動車利用者に知らせ、安全かつ快適な通行を確保

< 設置前の状況 >



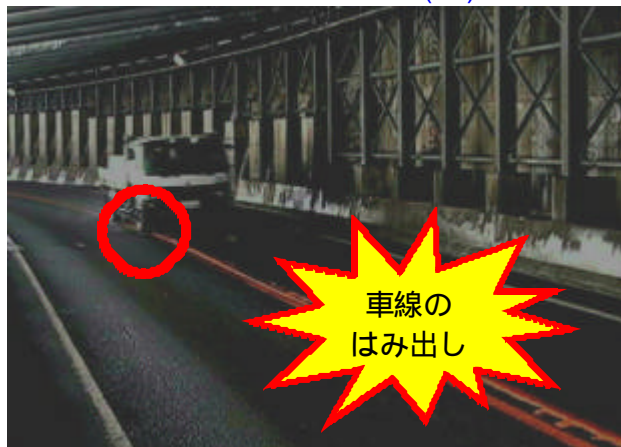
< 設置後の状況 >



## 走行車線をはみ出す車輛の割合が減少

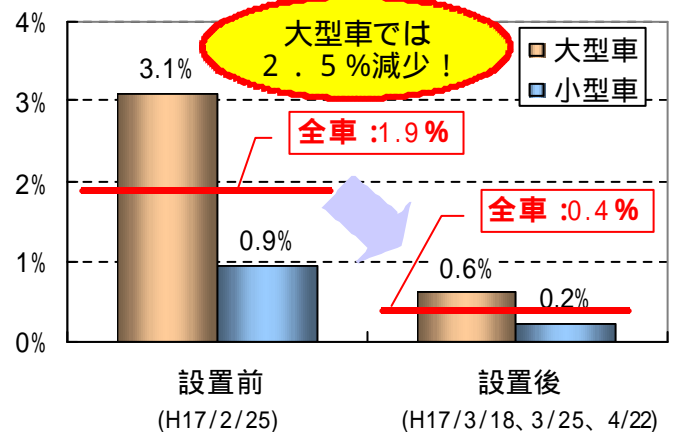
- ・視線誘導標の設置により、スノーシェッド内での車線をはみ出す車輛の割合は、**全車平均で設置前の1.9%から、設置後は0.4%に減少しました。**
- ・特に、大型車では、**設置前の3.1%が設置後には0.6%に減少しました。**
- ・これにより、正面衝突事故、すれ違い時事故の発生危険性が低下しております。

< 走行車線はみ出し状況(例) >



設置前

< 走行車線をはみ出す車輛の割合 >



資料：H17交通実態調査（国土交通省山形河川国道事務所）

## 対向車とのすれ違い時にブレーキをかける車輛の割合が減少

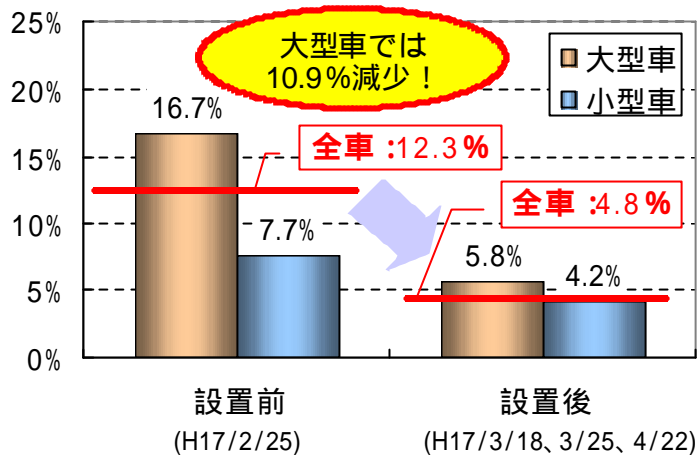
- ・視線誘導標の設置により、スノーシェッド内で対向車とすれ違う際にブレーキをかける車輛の割合は、**全車平均で設置前の12.3%から、設置後は4.8%に減少**しました。
- ・特に、大型車では、**設置前の16.7%が設置後には5.8%に減少**しました。
- ・これにより、対向車とのすれ違い時の安全性が向上していることが伺えます。

<すれ違い時にブレーキをかける状況(例)>



設置前

<対向車とのすれ違い時にブレーキをかける車輛の割合>

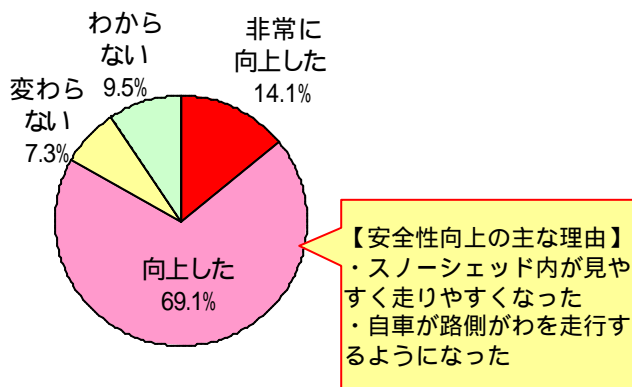


資料：H17交通実態調査（国土交通省山形河川国道事務所）

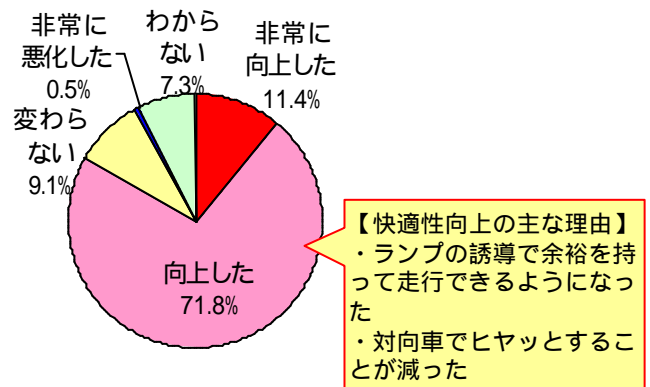
## 安全かつ快適に通行することが可能に

- ・アンケート調査の結果、自動車利用者の**8割以上の方が「スノーシェッド通行時の安全性が向上した」と評価**しており、その理由として「スノーシェッド内が見やすく走りやすくなった」などの回答が得られています。
- ・同じく、**8割以上の方が「通行時の快適性が向上した」と評価**しており、その理由として「ランプの誘導で余裕を持って走行できるようになった」などの回答が得られています。

<戸沢スノーシェッドの安全性向上>



<戸沢スノーシェッドの快適性向上>



<利用者の声>

- ・うす暗いスノーシェッド内で先のコーナー等がわからないことが多かったので、視線誘導標により道路の曲がりが見え、走行しやすくなった。(40代男性)
- ・以前は急に視界が暗くなるため、昼間でも道幅が狭く感じ、対向車線へ寄っていくなど怖い思いをしたことがあったが、視線誘導標が設置されたおかげで、道幅がどのくらいあるかがわかり、快適な運転をすることができる。(30代男性)

資料：H17道路利用者CSアンケート（国土交通省山形河川国道事務所）